

大分市議会第4回定例会閉会

11月30日から12月14日で開催。約66億円余りの補正予算（案）、追加補正予算（案）約46億円—非課税世帯への給付金支給、公共下水道の整備促進。公務員の給与改定などの議案が提案されました。



（初回質問する福間）
定には反対しました。

また、○物価高騰に見合う年金引き上げを国に求める意見書、○健康保険証の廃止方針を求める意見書（2件）、深河内の住居表示変更に関する陳情は、総務常任委員会では不採択となり、最終日の本会議で反対討論を行いました。

私は、7日（木）に一般質問を行いました。質問要旨を紹介します。

暮らしに向き合った物価高騰対策を



（再質問する福間）
臨時国会で可決成立した総額13兆円あまりの補正予算は、物価高騰にあえぐ暮らしの実情に向き合った補正予算とはいえないと指摘。

●住民非課税世帯を対象にした給付金は、同一家族に課税者がいたり、扶養に入っていたら対象から外される。まずはこの規制を取り払い、個人が非課税者であることを支給原則にすること。

★前回の大会の3万円給付世帯数は54,082、給付人数は、68,354人です。非課税者個人が支給対象になれば約24万人が支給を受けることができます。

●所得税・住民税と低所得者向けの給付金を合わせると5兆円規模の対策なら、直接消費されて減税効果の高い消費税減税を。



議員団は、物価高騰対策、介護・障害・保育・子ども医療・生活保護などの扶助費等の追加計上に賛成しました。マイナンバー関連、有料指定ごみ袋事業、市議会議員・市長などの常勤特別職の給与改定

臨時国会で可決成立した総額13兆円あまりの補正予算は、物価高騰にあえぐ暮らしの実情に向き合った補正予算とはいえないと指摘。

●住民非課税世帯を対象にした給付金は、同一家族に課税者がいたり、扶養に入っていたら対象から外される。まずはこの規制を取り払い、個人が非課税者であることを支給原則にすること。

★前回の大会の3万円給付世帯数は54,082、給付人数は、68,354人です。非課税者個人が支給対象になれば約24万人が支給を受けることができます。

●所得税・住民税と低所得者向けの給付金を合わせると5兆円規模の対策なら、直接消費されて減税効果の高い消費税減税を。

財務部長—社会保障財源をどうするか、法改正に時間を要する即効性があるのか、減税まで消費の手控えで悪影響（再々質問する福間）

響及ぼさないかの論点がある。今後国の議論注視していく。

★2023年度の食品値上げは32,189品目。エンゲル係数は、5ヶ月連続で28%を超える高止まり、消費税減税で食料品をはじめほとんどの商品・サービス価格を引き下げることができます。

その他、農林水産行政では—（○食料・農業・農村基本法を見直し。○食料有事法制化中止。○水田交付金の削減やめ、水田つぶし政策「畑地化」の撤回を、○温暖化による農林水産業への対策）



公務労働では—（○市長の経済団体講演会での「市の職員多すぎる発言」の真意は、○エッセンシャルワーカー・ケアワーカー増員を、○会計年度任用職員の処遇

（水産業者の思い届ける福間）改善）について質問しました。次回のニュースで紹介します。

公園がきれいに、水路に防護柵



（西大道公園）

から喜びの声が寄せられました。

西大道公園は、数年清掃が行き届かず、「樹木はのび放題、草はぼうぼう、犬の糞の散乱、蚊に刺される」など、ご近所の方から苦情が寄せられていました。このほど、全面的な清掃などおこなわれました。「きれいになりました」とご近所の方



←（国分地区）

2年ほど前に、ちいさい子どもさんを抱える若いご夫妻からの要望を受け、支部の方と現地調査し、改善方を要望していました。関係機関との調整も整い、防護柵の設置が完了

暮らしの相談も次々に

○老人ホーム入所の母親の死亡、公営住宅の明け渡し、預貯金の財産処分

○田舎の家・土地山林などの相続手続きについて

○収入減少による生計保護申請—保護決定に喜びの声など議会中も多くの相談に対応しました。

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3—2—6

546—4505（FAX兼用）

携帯090—2714—5612

